

情報モラルを身につけよう

今、インターネット(以下ネット)が、社会生活において切っても切れない重要なものとして、世の中に浸透するようになってから、四半世紀が過ぎようとしています。生まれたときから、ネット環境が当たり前のように身の回りにあるという「デジタルネイティブ」世代も増えてきています。

しかし、生活が便利になってきた反面、犯罪、いじめ、誹謗中傷、システムのエラーなど、様々な問題も生じてきました。ネット社会の発展に法律や規制が追いついていないと指摘する評論も見かけます。当然、法律などを整備し、より安全なネット環境を構築することは重要ですが、さらに、ネット上のトラブルから我が身を守ることも大切なことです。

そこで今、情報モラルの重要性が高まっています。これは、自分を守り、相手を傷つけないネットとの付き合い方を示すものです。

まず、基本的な考え方は、
○日常生活における他の人と接するマナーや気遣いは、ネットにおいても必要であることを認識する。

○SNS等で発信する際には、相手の気持ちを考えて正確

に誠実に、相手の個人情報大切にしたいで行う。
次に、ネットを用いるときに守るべきことです。

○自分のパスワードは教えない。他の人のパスワードを尋ねない。

○チェーンメールは送らない。
○ネットの利用時間やルールを決めておく。

○他の情報を利用するときは、情報元を明らかにする。
○著作権に配慮し、勝手にコピーしない。

さらに、危険なことには近づかないようにしましょう。
○見知らぬ添付ファイルや危ないサイトは開かない。

○悪口や言い争いがあるような掲示板にはアクセスしない。
○ネットで知り合った人に安易に会いに行かない。

○物の売り買いなどのトラブルには十分注意する。
○トラブルに巻き込まれたら、一人で悩まず相談する。

とにかく興味本位で怪しいサイトなどに絶対にアクセスしないようにしましょう。
最後に、受け取った情報が、自分にとつてどんなにお得に見えても、その情報だけを信じて判断するのは危険です。別の方

法で確かめてから判断する習慣を身につけましょう。

現代社会には情報が氾濫しています。ネットは利便性・有益性が高いのですが、悪用される場合でも、その効力が発揮されてしまいます。トラブルや犯罪に巻き込まれないためにも、情報モラルをしっかりと身につけていきましょう。

(参考:スズキ教育ソフト「情報モラルの十七条」)

お礼

2021年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していた人権問題に関する行事等の中で変更を余儀なくされたものがありません。それにも関わらず、多くの方にご協力いただきましたこと、心よりお礼申し上げます。次年度も、感染予防対策に配慮しながら、人権問題に関する講演会等を開催してまいりますので、ご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

市人権推進課(市教育庁舎1階)
TEL 32・2122
FAX 33・3525
Mail:jinkensushin@city.komatsushina-i-tokushima.jp

市民文芸 花みずき歌壇 (389) 松並敦子・選

釣りバカの映画を観つありし日の釣バカ亭主をしみじみと恋う

横須町 福島 夢栄

伸びらかに地域と共生共存す夢を盛り守る杜のコンサート

横須町 山崎 泰子

丈六寺の血天井は今もなお歴史を刻み世に伝えおり

赤石町 田原トシ子

手に取れば程良い重み柔らかな蜜柑ひとつの落ちつく時間

松島町 萬野 行子

プリンターに色とりどりのパンジーを植えて慰む鬱なる日々を

田浦町 太田カツミ

今年また庭のツブキ花咲けば己が心も冬に入るかな

田浦町 西 教明

庭木の剪定黙々としつつ思い知るわが体力と木々の成長

間新田町 瀧川 益美

東北の空の青さと匂いをのせ友より届くリングはフジなり

立江町 湯浅かや子

話し下手聞くも下手なる家族なり黙して向き合、夕餉終えたり

江田町 深田 伴子

自らが動かねば今日は始まらぬ洗濯機廻しつつ味噌汁つくる

中田町 松並 敦子